

# おとくにしんぶん ⑥

2013

http://www.otokuni-jc.org/

発行/公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3丁目10-16 長岡京市立産業文化会館2F 編集/JC 運動情報委員会

## Contents

5月例会

国民参加型憲法事業

乙訓の元気



**第四十一回 京都ブロック大会(亀岡大会)**

五月十九日(日)に亀岡の地において、第四十一回京都ブロック大会が開催されました。

初めに亀岡会館で、式典、メインフォーラムが開催されました。式典では、オープニング映像後、府内十三青年会議所の紹介で各理事長が登壇され最後に京都ブロック協議会山添会長が登壇されました。その後、開催宣言後、来賓、歴代会長、来訪JCI、役員紹介、会長挨拶と進み総務情報委員会による、褒賞授与式が行われました。そして最後に大会KEYが、次回開催地綾部へ移管され閉会致しました。メインフォーラムでは、講師に南京町商店街振興組合理事長 曹英生氏を招き「人と人とのつながりとリーダーシップ」と題し大変貴重な講演を頂きました。続いて曹英生氏に加えパネリストとして、亀岡市副市長 勝見彰氏、みずのき美術館館長 奥山理子氏、京都産業大学 金光淳氏を交えてパネルディスカッションが行われました。地域を輝かせる為には、「つながり」の輪を広げていくのが重要であると理解出来たのではないのでしょうか。続いて会場を宗教法人大本部亀岡宣教センターに移し、地域活性化から市が、開催されました。あいにくの雨の中でしたが、多くのメンバーや一般の方々にご来場頂きました。各ブースでは、京都府内十三地域の「地域のたから」となりうる「地域の魅力」に触れて頂き、京都のうまいもんを堪能してもらいました。そして舞台上で



は、亀岡発信お笑いライブなどが行われました。最後には、ブロック大会運営委員会によるジャグリングが披露され、野中委員長の挨拶で閉会しました。

出向していたメンバーはもちろん参加されたメンバーにも多くの学びのある大会になったのではないのでしょうか。またブロック大会に参加する意義を感じて頂き、さらに友情を構築できた大会になりました。多くの皆様のご参加有難うございました。雨の中、ご苦労様でした。

(記事 黒川 昌哉)



## 乙訓の元気

### 長岡京市 ゲンジボタルを育てる会

ようこそここにへ。

と、迎えてくださった「長岡京市ゲンジボタルを育てる会」の会長 多良茂さんは、乙訓青年会議所OG多良有美先輩のお父さん。

今年度、長岡京市ゲンジボタルを育てる会の皆さんの長年にわたる取り組みが認められて環境大臣賞を受賞。環境の都・長岡京市の面目躍如です。現在は小学校においてもボタルの生育についての環境教育が行われています。

活動のきっかけは今から三十年前、宅地開発で小泉川の水質が悪化してボタルが見られなくなりました。それに対して、もう一度ボタルの飛び交うふるさとを川を取り戻すため地元住民と市が協力して、清掃活動や幼虫の放流、乱獲防止のバトロールに取り組みを進めてきました。



取り組みの成果があつてボタルの数も順調に増えています。また、第二外環状線の建設に伴って、小泉川上流に(仮称)西代公園が現在整備中。ボタルの養殖池も作られる予定です。

「公園は活動の足掛かりになる。この活動を次の世代に引き渡せるよう頑張りたい」とボタルが乱舞する西代の構想を熱く語っていた頂きました。是非とも一度足を運びください!

輝きは飾りじゃない、ボタルの西代。

●ボタル観賞の夕べ

六月十四日(金)・十五日(土) 午後七時三十分~九時三十分 (少雨決行)

小泉川上流 西代橋付近  
交通 阪急バス「上ノ町」、「奥海印寺」停留所から徒歩3分 (駐車場はありません)

※ボタルは光を嫌いますので灯りは消して、静かに観賞しましょう。(記事 堤 淳太)

長岡京市ゲンジボタルを育てる会事務局(環境政策監内) 〇七五-九五五-九五四二

## 春の観光まつり

長岡京で行われた春の観光まつりに行ってきました。向かった所は長岡天満宮。樹齢一五〇年とも言われる霧島ツツジが満開で見る人を魅了していました。綺麗なツツジを楽しみながら歩く事によって、自分のまちにも素敵な所が沢山あると、改めて地域の魅力を感じる事が出来ました。乙訓寺においても約二〇〇株のボタンが境内いっぱい、様々な種類や色の花が咲き、訪れる人を魅了していました。乙訓地域には様々な歴史ある観光地が沢山ありますので、皆様にも見て頂きたいと思えますし、私もまた見に行きたいと感じました。

(記事 谷口 直満)



## 向日神社例大祭

五月十二日(日)五月晴れの中、向日神社例大祭の還幸祭が向日市や長岡京市の乙訓地域一帯で行われました。宮司ら神職が神事を営んだ後、一行は御幣や獅子頭などの神具をトラックに乗せて出発し、氏子が住む乙訓地域を巡航しました。また子供神輿も巡航し、いつもは静かな路地が子供たちの元気で華やかに活気づきました。時代は変わっても祭りは人を活気づかせ、まちもまた活気づきます。乙訓地域の宝が大人から子供に引き継がれ、そしてその子供たちがまた大人になって子供に伝える。乙訓がこれからも元気なまちである様に、乙訓青年会議所会員として、これからもまちの為に力を尽くして行きたいと気持ちを新たにしたい一日でした。(記事 崔 祥龍)



## 会員募集

青年会議所(JC)は、「明るい豊かな社会の実現」を理想とし、「奉仕・修練・友情」を信条として様々な活動をしている青年経済人の集まりです。会員資格は二十歳から四十歳迄と年齢制限があり、メンバーは限られた時間の中で次代のリーダーとなる責任感を持ち切磋琢磨しています。地域の産業を担う青年経済人の人的ネットワークを広げ、より青年会議所運動を展開する為に、メンバー一同、共に夢を語り合える仲間としてJCの扉を開いて頂ける事をお待ちしています。乙訓青年会議所では随時メンバーを募集しております。

ご興味がある方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局(〇七五-九五五-二二三〇)まで

### 編集後記

日差しがきつくなり感じる季節になりました。今年も暑くなりそうな予感ですけど、暑さに負けず頑張って参りましょう。編集長 谷口直満

### JC 運動情報委員会

委員長 崔祥龍 編集長 谷口直満 副編集長 中路耕太 編集委員 岩井泉二郎 黒川昌哉 高井茂行 堤淳太 中小路健吾